

七月に地域の住民の方々に対しまして、交通安全標語の募集を行いましたところ、お子さんから大人の方まで総数一三六点の応募をいただきました。これらの標語の中から、審査を行い、優秀な作品を選びましたのでご紹介します。これらの作品は、今後交通安全啓発に活用していくこととしています。

最優秀作品
あせつてる あなたの心が 赤信号
(敬称略)
(渡邊 稔)

優秀作品

手をあげて 渡る姿は ヒーローだ
(前川のか)
よくみてね まえどうしろと
みぎひだり
(匿名)

無灯火は 間夜のカラス 事故多し
(匿名)

手を上げる 孫を見習い 交差点
(池田 健忠)
(中村美恵子)

入選
あぶないよ そこのかどから
じてんしゃが
(匿名)

手をあげて はつきり示そう 渡る意志
(岩崎 美代子)

横断歩道 一旦停止で 笑顔のあいさつ
(匿名)

スマホはね 楽しいけれど
命とり
(田中杏央唯)

時間にも 気持ちも余裕で 出かけよう
(西村 智代)

自転車の 飛び出しヒヤリ 高架下
(竹本 義之)



終戦から七十六年を迎えた八月十五日(日)、南郷里まちづくりセンターで、長浜市遺族会南郷里支部(支部長 加納藤太郎 会員七十四名)主催による南郷里地区戦没者追悼式が行われました。(雨により会場を急きょ変更されました)

九月二十一日~三十日は、秋の交通安全週間です。南郷里地域づくり協議会(くらし安全部会)では、通学路などで日々から交通安全の啓発や見守りをしていただいている方々に対しても、九月二十六日(日)に、南郷里まちづくりセンターにて、長浜警察署員の指導で、現在の交通事故、事故の実態、地域で見守る上の注意事項などを実技も交えて教えていただくこととしています。

地協の関係者のほかスクールガードや少年補導員、子ども安全リーダーの方にもご案内しますので、ご参加をお願いします。

南郷里地区戦没者追悼式が行われました

新型コロナウイルス感染拡大防止へ 今一度、緊張と実践を!

現在、八月八日から県下にまん延防止等重点措置が適用されています。みなさん、改めて気を引き締め、一層の感染拡大防止に努めていきましょう。

地域づくり協議会の会合や事業においても、事前検温、参加者の人数制限、参加記録、問診票、時間短縮などできる限りの対策を引き続きとっています。

『ボランティア人材バンク』へ ☆登録してみませんか☆



☆登録してみませんか☆

みなさん! ご存じですか。今年、4月より南郷里地域づくり協議会の組織が新しくなり、5つの部会での活動が始まりました。

地域づくり協議会では幅広い分野における人材を発掘し、その情報を提供することにより地域づくり協議会事業を支援するため『ボランティア人材バンク』への登録をお願いしております。

ボランティアの内容は様々です。子ども学び座の支援、地域づくり協議会事業的人的補助、まちづくりセンターの維持管理の補助(葉刈り、除草、ガラス拭き等)、文化祭での発表、講演会講師、郷土玩具の製作指導など。

ぜひ、この機会に『ボランティア人材バンク』に登録してください。

◎お問合せ

南郷里地域づくり協議会 南郷里まちづくりセンター内
事務局: Tel 62-0287 FAX 64-2751



凌雲(りょううん・本名きく)は、明治十一年に南郷里村加納町で酒屋を営む加納清九郎の三女として生まれ、女学校卒業後、郷里南郷里で子供達に勉強を教える傍ら、地元の画家・中川耕斎に日本画の手ほどきを受け、二十一歳の時、東京に出て日本画を本格的に学び活躍した郷士が誇る女流画家です。

長浜市の知善院にある「天井絵」「天女奏楽の絵」は凌雲画の傑作作品です。晩年は、画人として活動することなく法華経千巻の写経をするなど精進につとめ、静かに余生を送り昭和三十一年に八十一歳の生涯を閉じました。



編集つぶやき…

うつとおしい梅雨が明ければ、三〇度超えのジンジンする暑い日が続き、益前から豪雨に見舞われ、先日には震度三のドシーンを感じることになりました。オリンピックをゆっくりと鑑賞する間もなく、コロナの感染拡大への恐怖や、豪雨によるおおきな災害が連日報道されています。

地域づくり協議会では、実行委員会組織が発足し秋の大きなイベントの企画づくりが始まりました。初の組織運営、事業計画づくりでとまどいもありますが、こんな時だからこそ元気になる企画も必要ではないでしょうか。応援とご協力をお願いします。



女流画人「加納凌雲」企画展 十一月に開催予定!